



## コロナ第6波から区民の命、暮らしを守ろう 区長に申し入れ

コロナ・オミクロン株が猛威をふるっています。荒川区でも連日200人を超える新規感染者が確認されています。お孫さんが感染した、同僚が感染した、濃厚接触者となったなどの話を度々伺います。保育園や幼稚園の休園、学年・学校閉鎖も相次いでいます。

日本共産党区議団は1月23日緊急申し入れを行いました(下枠参照)。当日は北川副区長が対応しました。



申し入れをする日本共産党区議団と副区長

### 「新型コロナ感染拡大第6波から区民の命、暮らしを守る緊急申し入れ」申し入れ内容

1, 第6波の感染状況に対応するための人員増など、保健所の体制強化を直ちに行うこと

2, 感染拡大を可能な限り防止するための検査について

①高齢者、障害者施設など、リスクの高い人が利用する施設においては、定期・頻回検査を実施すること

②事業所が利用者・従業員等に対し独自に検査を行った場合に、費用を補助すること



③希望する区民や区内在勤・在学者に対し、抗原検査キットの無料配布を実施すること

④区独自のPCR検査センターの再設置を検討すること

⑤濃厚接触者が医療機関で検査を希望した際、医師の判断に関わらず公費負担で行えることを、区民や区内医療機関へ周知すること

3, ワクチンの3回目接種について

①区として、可能な限り迅速に接種を実施すること

②住民票がない人に対し接種実施周知を徹底すること

③ワクチン未接種者に対し、差別が起らないよう合理的配慮を徹底すること

④医療機関の現状を鑑み、集団接種会場の増設の検討を行うこと

4, 事業所等への支援について

①高齢者・障害者施設をはじめ、保育園・幼稚園・学校、医療機関など現場の要望を聞き取り可能な限り実現すること

②上記施設など希望する事業所に対し、マスク・手袋など感染防止用具の配布を実施・拡充すること

5, 区民のくらし支援について

①感染の心配で保育園等を休む世帯への保育料減免は、当面日割りで行い、1月に関しては遡って対応すること

②「小学校休業等対応助成金」について、学校・保育園等の保護者へ広く周知し、活用を呼びかけること。また、区内事業者に対しても周知を行い、保護者が利用しやすい環境をつくること

③区民サービスの低下を可能な限り抑える態勢をすぐにつくること

④都の協力金について、申請の開始・支給を迅速に行うよう都へもとめること

#### 小学校休業等対応助成金とは

新型コロナで小学校や保育園などが休業した場合や、感染した子どもを休ませる必要がある場合、労働者に子の世話をするための有給の休暇を取得させた事業主に対して支払われる助成金。事業者が申請しない場合、労働者が直接申請可。申請は2022年3月31日まで延長。



# コロナワクチン3回目接種 荒川区対象者は 163,000 人



私も理事を務める健康・危機管理対策調査特別委員会にて1月21日、新型コロナウイルスワクチンの追加接種(第3回目接種)について報告がありました。

荒川区民の2回目接種完了者は約169,000人で、3回目接種対象者(18歳以上)は163,000人です。65歳以上の対象者は45,000人。荒川区の2月までのワクチン確保状況は89,000回分(ファイザー46,000、モデルナ43,000)。65歳以上の方のワクチンは十分に確保されています。

3月以降のワクチン供給に関しては近日中に確定するとのことです。ワクチン供給量にしても、接種方針にしても、日に日に状況が変わり、区職員は国や都に振り回されています。接種体制整備を改めて求めました。

## 集団接種スタート

1月21日からラングウッドホテル地下2階の会場でモデルナの集団接種がスタート、2月3日から尾久ふれあい館とサンパール荒川でファイザー、町屋ふれあい館3階でモデルナが開始されます。現在のところ、モデルナであればどの会場もすぐに予約できます。ファイザーは希望者が多く、数日お待ちいただくようです。

## 個別接種・訪接種は

個別接種協力医療機関は97機関です。そのうちかかりつけ患者のみ接種する医療機関は46です。

訪接種で2回のワクチン接種をした方は48人とのことです。前回同様、専門チームを編成して3月以降接種にあたります。

## 5才～11才の接種は3月以降

ファイザー社製のワクチン。12歳以上のワクチンと濃度や容量が異なります。全く別物として流通し、打ち間違えを防ぎます。個別接種が基本ですが、集団接種会場も選べるように医師会と区が調整しています。年齢が低いほど、保護者も本人も接種に悩むはず。メリットとデメリットを該当の方と保護者に改めてお示しするよう求めました。

## 12才～17才の方の3回目接種は?

国からはまだ何も示されていないとのこと。この年齢層の方々が抜け落ちることの無いよう、希望する方は確実に受けられるように国の動向を注視すること、体制を整えることを求めました。

## 1, 2回目の接種で副反応などはあったのか

接種会場で倒れた、アナフィラキシーショックが出た、など副反応の報告は180件あったとのことです。「健康被害救済制度」の申請は荒川区で2件です。

予約など詳細は区報やホームページに掲載されておりますので、最新情報をご確認ください。

## 【問合せ】

荒川区新型コロナワクチン相談センター

電話番号: 0800-666-7777

受付時間: 午前8時30分～午後5時15分

※土曜・日曜・祝日等を含む

# おぐっこプレーパーク 段ボールでひみつきち!

1月23日、西尾久二丁目防災ひろばで「おぐっこプレーパーク」が行われました。NPO ワーカーズコープ・尾久ふれあい館が主催、西尾久二丁目北町会の協力で昨年6月から行われています。



段ボールで隠れ家を作ったり、大縄跳びやモルック(スウェーデン発のゲーム)で遊んだり、紙芝居を見たり…。プレーリーダーさんや地域の皆さんに見守られながら子どもたちが外で“自由”に遊ぶ、とてもいいですね。プレーパーク終了後は、子どもたちが協力しながらお片付けしていました。

次回は2月27日(日)午後1時～4時。



日時: 2月18日(金) 18:30～20:00

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: 北村あや子事務所

日々の生活、仕事…ひとりで悩まずご相談ください。

弁護士と北村が相談をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。

